

河村城跡の整備

二〇〇一年、山北町都市計画公園「河村城址歴史公園」として都市計画決定しました。
 二〇〇六年、本城郭と蔵郭の間の薬研堀と橋脚遺構の検出をもとに木橋を完成しました。
 二〇一〇年、中期基本計画に基づく史跡整備工事（蔵郭より東側）を開始しました。



蔵郭側の軽量盛土（発泡スチロール組立）



本城郭から見た木橋と蔵郭の整備

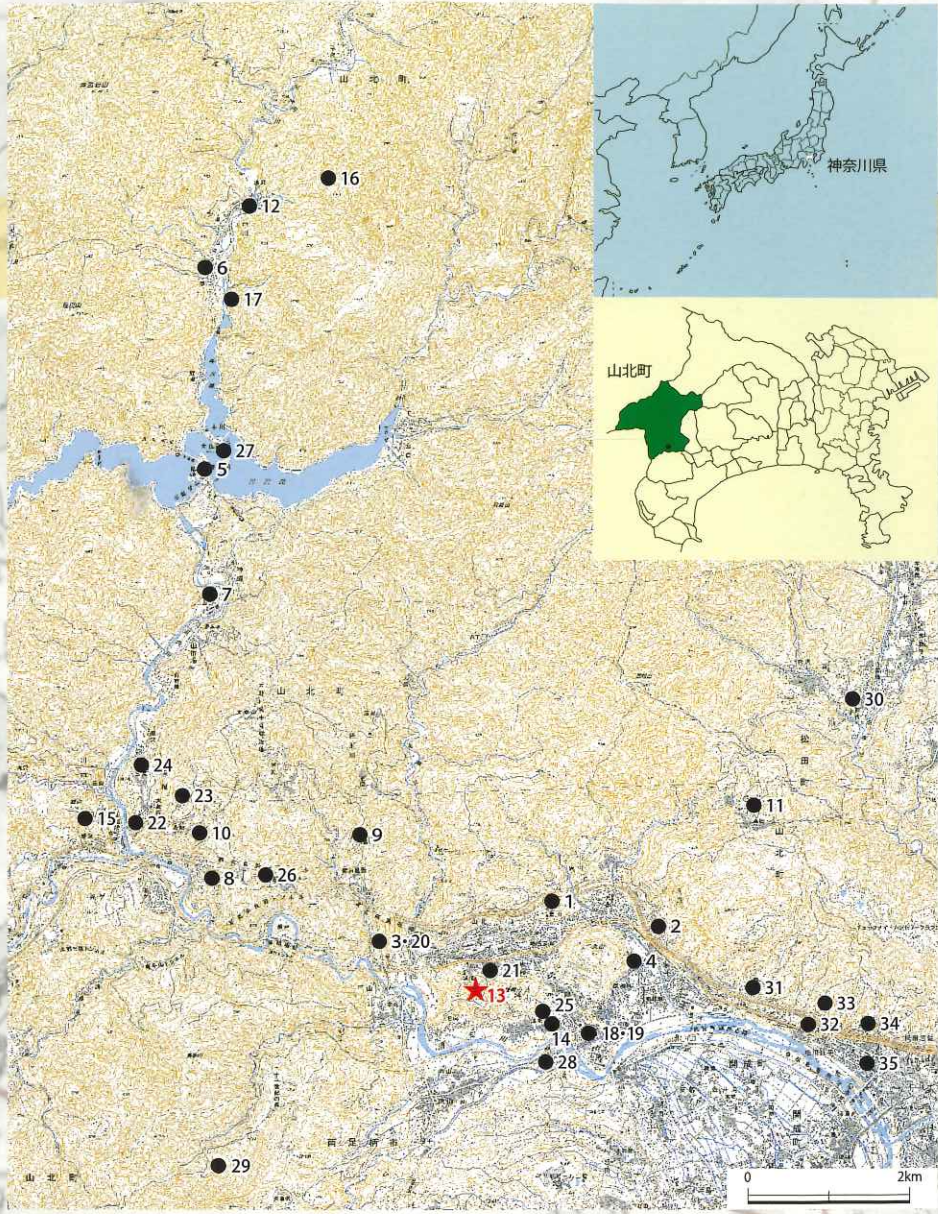


蔵郭の整備



堀切の整備

河村城跡と周辺の遺跡分布図



- | | | | |
|----------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|
| 1 堂山遺跡 (弥生・縄文) | 10 梨沢遺跡 (縄文) | 20 No.20 遺跡 (中世) | 29 浜居場城 (中世) |
| 2 カラス山遺跡 (弥生・縄文) | 11 No.11 遺跡 (縄文) | 21 山北駅南遺跡 (弥生・中世・近世) | 30 田代天王山遺跡 (縄文) |
| 3 梵天山遺跡(梵天塚) (中世) | 12 中川遺跡 (縄文) | 22 須賀社遺跡 (中世) | 31 根石遺跡 (縄文) |
| 4 水上古墳 (群) (円墳) | 13 河村城跡 (中世・縄文・弥生) | 23 鉢ノ山遺跡 (中世) | 32 城山遺跡 (縄文) |
| 5 尾崎遺跡 (縄文) | 14 河村館跡 (中世) | 24 No.24 遺跡 (中世) | 33 松田城 (中世) |
| 6 大室神社下遺跡 (縄文) | 15 河村新城跡 (中世) | 25 河村土佐屋敷 (中世) | 34 から沢古窯址・横穴群 (古代・古墳) |
| 7 頼政神社南方遺跡 (縄文) | 16 湯ノ沢城跡 (中世) | 26 鐘ヶ塚岩 (中世) | 35 松田庶子古墳群 (古墳) |
| 8 真楽寺遺跡 (縄文) | 17 中川城跡 (中世) | 27 大仏城山 (中世) | |
| 9 共和小学校遺跡 (縄文・古代・中世) | 18 南原遺跡 (縄文) | 28 春日山砦 (中世) | |
| | 19 南原古墳群 (円墳) | | |

河村城跡へのアクセス

交通機関：JR 東海 御殿場線 山北駅下車 城入口まで徒歩 10 分

お問い合わせ

山北町教育委員会 〒258-0195
 神奈川県足柄上郡山北町山北 1301-4
 0465-75-3649
gakusyu@town.yamakita.kanagawa.jp

2012(H24).1.20. 改定 (3)

神奈川県指定史跡

かわむらじょうあと

河村城跡



山北町教育委員会

河村城跡とは

河村城跡 神奈川県足柄上郡山北町山北・岸地内に所在
県指定史跡 1996年に指定、2003年に追加指定
面積 81,334.51m²

歴史

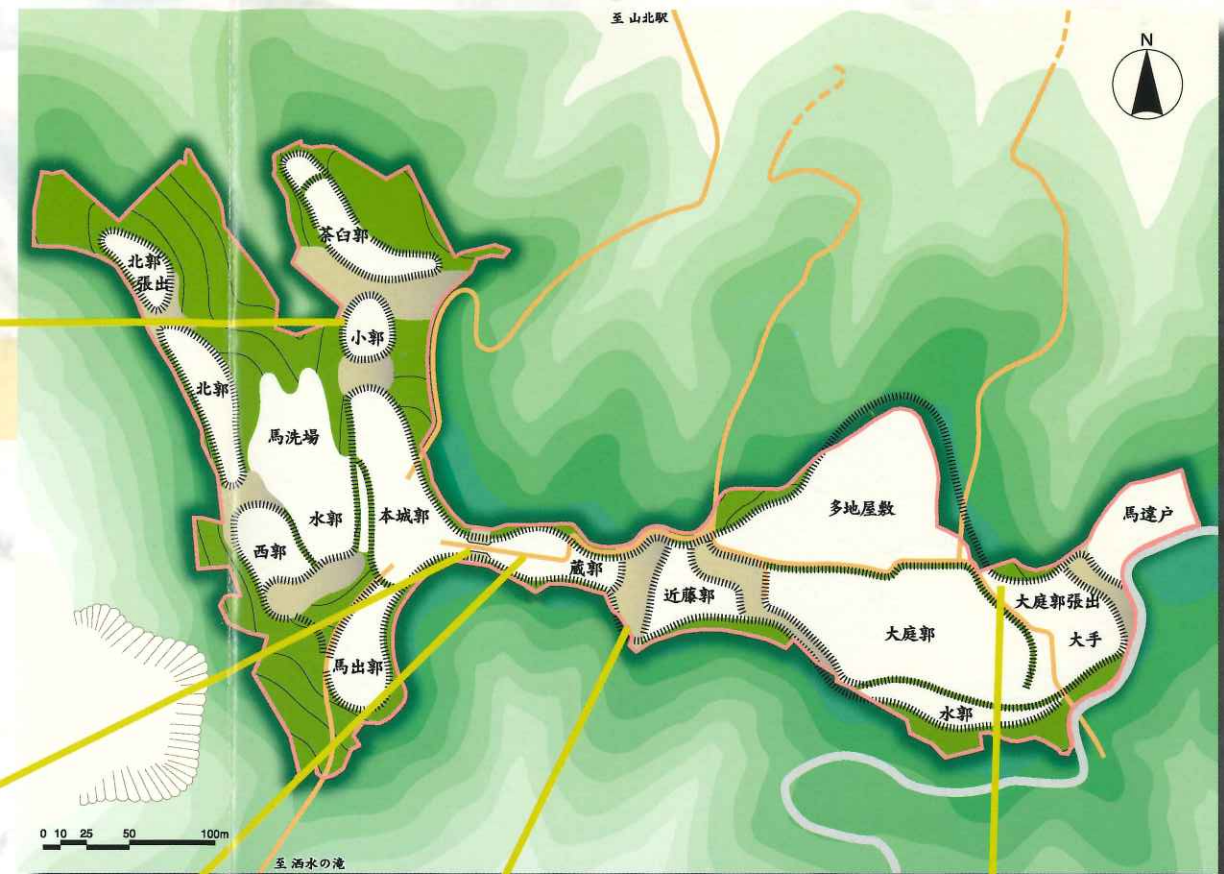
12世紀末、秀郷流藤原氏の一族波多野遠義の二男河村秀高築城か
1352(正平7)年 新田義興・義治ら六千余騎河村城籠城
1353(正平8)年 新田義興・脇屋義治らは河村城を落つ
河村秀国・秀経らは南原の戦いで討ち死に
その後の城主、畠山国清、関東管領上杉憲実、大森氏、北条氏
1561(永禄4)年 長尾影虎(上杉謙信)、河村城襲来か
1569(永禄12)年 武田信玄、小田原城攻撃、北条氏本城・河村城
などに籠もる
1571(元亀2)年 北条家、河村・足柄両城の普請
1590(天正18)年 豊臣秀吉の小田原征伐で廃城
1707(宝永4)年 富士山の宝永大噴火
1709(宝永6)年 皆瀬川の瀬替え

縄張り

急斜面と複雑な谷地形を生かした郭配置、三つの尾根を堀切によって郭としています。本城郭から東の浅間山に連なる尾根に蔵郭・近藤郭・大庭郭・同張出・大手があり、本城郭から北の尾根には小郭・茶臼郭、西へ伸びる尾根には馬出郭・西郭・北郭・同張出・大久保平が設けられています。
また、郭の周囲は水郭・帯郭が設けられ、本城郭と北郭の間に馬洗場があります。周囲には湧水がみられます。



うね 畝堀に挟まれた小郭



郭の配置



堀切の断面



竪穴状遺構



障子堀



宝永火山灰の天地返し



堀切から発見された常滑の甕



中国青磁 稜花皿 (龍泉窯系) 中国青磁 碗 (龍泉窯系)

竪穴状遺構から発見された遺物



鉄釘

発掘調査

2003年～2005年に史跡整備を目的に実施しました。その結果、蔵郭から大庭郭張出に至る郭群から、小田原北条の時代の城郭遺構を多数検出しました。
また、2007年・2008年の調査では、蔵郭と近藤郭の間の堀切が障子堀であることが明らかとなったほか、近藤郭からは空堀や竪堀を検出しました。

保存活用

今後は、河村城跡史跡整備マスタープランに基づき、調査と整備を継続し、史跡を保存・管理しながら、公開活用に努めていく予定です。
山城としての遺跡本来の景観を保護しながら、学習の場・憩いの場として活用することにより、来訪者に親しまれる史跡になるよう文化財保護意識の高揚を推進していきます。

新田義興居城河村古城跡絵図
(18世紀前半) 部分

相模国足柄上郡山北村絵図
(瀬替以前) 部分

